

令和4年度決算に基づく千葉市健全化判断比率等審査意見の概要

審査の結果 [意見書P. 2]

令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率並びにそれらの算定の基礎となる事項を記載した書類は、法令に適合し、かつ正確であると認められた。

令和4年度決算に基づく健全化判断比率

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
比率	—	—	10.6	125.0
早期健全化基準	11.25	16.25	25.0	400.0

令和4年度決算に基づく資金不足比率

区分	病院事業	下水道事業	水道事業	農業集落排水事業	地方卸売市場事業	動物公園事業
比率	—	—	—	—	—	—
経営健全化基準	20.0					

実質公債費比率の前年度比較

(単位：%、ポイント)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度 B	令和4年度 A	前年度増減 A-B又はC-D
実質公債費比率 (単年度)	12.58	10.48	10.83	10.70	△0.13
令和4年度実質公債費比率 (3か年平均) C	10.6				△ 0.6
令和3年度実質公債費比率 (3か年平均) D	11.2				

実質公債費比率及び将来負担比率の推移

